

市北支部

支部理事：樋口 尚子

1. 活動方針及び活動目標

- | |
|---|
| 1) 医療介護福祉・行政の各施設と情報共有し、地域包括ケアの推進を図る。 |
| 2) 支部内区ごとの具体的な災害ネットワークづくりから全体の災害対策について検討する。 |

2. 活動内容

実施項目 【開催場所】	内 容	開催回数	参加者
定例役員会 【大阪市立 十三市民病院】	1) 年間活動計画に基づき、研修・北区民カー ナルなどの企画、運営と評価 2) 各職能団体の活動状況や課題報告から支部 活動を検討	全7回	委員 のべ78名
施設代表者会 【大阪市立 十三市民病院】	1) ACPグループ 市北支部で統一したACPシートの作成と、 今後ACPの普及活動の検討 2) 災害グループ 市北支部内の災害時の連携のため、病院・ 施設の特徴を示すデータベースや支部圏内 の配置図作成に取り組む 3) 地域連携グループ 病棟看護師と在宅サービス職員が顔の見え る関係づくりを目指し具体的な方策を検討 4) 大阪関西万博に向けた感染予防対策の共有 と各施設における対策検討	全7回	のべ112名

3. 活動実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日 等	参加者
「看護の日・看護週間」 事業 協力員派遣 【ナーシングアート大阪】	「夏休みわくわくイベント♪看護のお仕事 体験してみよう」AED体験・子どもBLS体験担当	8月3日	委員4名
北区民カーニバル出展 【扇町公園】	血管年齢・骨密度測定・ちびっこナース服体験・ かんごちゃんとの写真ブースを設置、市民350人 に対応	10月20日	委員12名
感染管理対策研修 【大阪府済生会 中津病院】	テーマ：大阪関西万博開催に向けた備え ～感染拡大にどう対応する～ 講 師：大阪市立総合医療センター 感染症内科部長 白野 倫徳氏 講 師：市北支部感染管理ネットワーク認定 看護師 山口 直樹氏・川口 尚子氏 輸入感染症・マスギャザリングにおける感染症 の備えについての知識を深め、ワクチン接種、正 しいPPEの着脱の実施 参加者100名以上	2月1日	委員10名

中小民間病院看護管理者 交流会 【大阪市立 十三市民病院】	診療報酬改定についての対策や医療安全事象の 共有・看護補助者の採用や定着など中小病院で 共有できるタイムリーな議題をテーマに活発な 意見交換を実施	全6回	8施設 のべ47名
看護の出前授業 性教育（生命の誕生・性 感染症・命の大切さ・妊 娠出産について・デート DVについて・思春期の体 の変化等）	大阪市立大淀中学校 講 師：大阪府済生会中津病院 師長 許 由紀氏	6月17日 11月15日 2月10日	113名 100名 121名
	大阪市立北稜中学校 〃	7月5日	150名
	大阪市立淡路中学校 〃	7月8日 7月11日 7月12日	68名 72名 65名
	大阪市立三国中学校 〃	2月14日	314名
【活動の概要】 今年度から病院・施設・地域との顔が見える関係づくりのため、会議はZoomから対面開催に変更した。感染管理対策研修では、万博に備えて看護職として関心のあるテーマとし、感染管理認定看護師との共同開催により、専門性の高い研修会が実施できた。北区民カーニバルでは、対象者を子どもまで拡大したことで、より多くの市民の健康づくりを支援すると共に小さな子どもたちへ「未来の看護師」につながる啓発活動ができ、看護協会活動の普及につながった。 支部活動として地域連携をテーマに①ACP②災害③地域連携の3つに分かれてグループ活動を開始した。施設間での情報を共有し病院・施設・地域の特性を知することは、支部の連携強化にむけて大切なことを実感し、次年度も継続させていく必要性が高まった。			

4. 課題・その他

- 1) 地域連携をテーマとした3つのグループ（①ACP②災害③地域連携）活動の充実
- 2) 大阪府看護協会会員の確保対策と看護協会のPR
- 3) 大阪関西万博により増加する外国人対応と感染症対策および備え